Japan's transformation

Developing sustainability through aluminum waste

廃アルミから水素生成

アルハイテックの技発信

英字紙特集 ダボス会議で配布

スイスで開催中の世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）に合わせて英字紙ジャパンタイムズが発刊した特集で、環境ベンチャーのアルハイテック（高岡市オフィスパーク、水木伸明社長）の取り組みが日本政府の広告記事に掲載された。同社は「当社の技術開発を世界に向けて紹介されることは誇りであり、より一層の努力をしていきたい」としている。

タイトルは「アルミニウムから水素へ」。廃アルミを使って水素を生成する革新的な方法を確立し、商業化に成功した唯一の企業として紹介された。ポータブル水素発生器を開発したことや、家庭で排出される廃アルミから水素を製造するための調査を実施していることにも触れ、水木社長は「世界の脱炭素化に貢献できる」とコメントしている。

特集は14日付。会議の出席者に配られる。

ジャパンタイムズのダボス会議特集に掲載されたアルハイテックの紹介記事